

SDGs未来都市等進捗評価シート

2022年度選定

石川県輪島市

2023年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

輪島市 SDGs未来都市計画

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

輪島市 SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

「市民が安心・安全で、“快適”に暮らせるまち輪島」、「多くの人が集い、“活気”に溢れるまち輪島」、「子どもから老人まで、あらゆる世代が“ゆめ”を描けるまち輪島」

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	居住誘導区域内の人口密度【11.2】	2021年 37.1 人/ha	2022年 36.6 人/ha	2030年 33.5 人/ha	14%		
2	空き家データベース登録件数【8.5、8.8】	2021年 147 件	2022年 164 件	2030年 250 件	17%		
3	移住者数(定住促進奨励金年間交付者数)【8.5、8.8】	2021年 19 人	2022年 29 人	2030年 40 人	48%		
4	移住定住住宅の整備【8.5、8.8】	2021年 12 室	2022年 12 室	2030年 24 室	0%		
5	移住イベントへの参加回数【8.5、8.8】	2021年 2 回	2022年 2 回	2030年 4 回	0%		
6	新規出店補助金交付数【8.5、8.8】	2021年 9 件	2022年 13 件	2030年 20 件	36%		
7	おおぞら・町野町農業協同組合の売上高【2.3】	2021年 22 億円	2022年 18 億円	2030年 25 億円	-133%		
8	能登森林組合の売上高【6.6、15.1、15.2、15.4、15.9】	2021年 9 億円	2022年 9 億円	2030年 10 億円	0%		
9	石川県漁業協同組合輪島支店・門前支店の売上高【14.2】	2021年 38 億円	2022年 34 億円	2030年 46 億円	-50%		
10	漁業環境の保全による漁獲高の維持【14.2】	2021年 10,148 t	2022年 7,104 t	2030年 11,000 t	-357%		
11	延長保育実施箇所数【4.5、5.1、16.1】	2021年 4 箇所	2022年 4 箇所	2030年 5 箇所	0%		

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）		2030年（目標値）		達成度 （%）
12	生後3ヶ月未満児の全戸訪問実施率【4.5、5.1、16.1】	2021年 99.1 %	2022年	100 %	2030年	100 %	100%
13	地域貢献見守り事業者数【1.3、2.2、4.2、4.3、4.4】	2021年 72 事業者	2022年	71 事業者	2030年	75 事業者	-33%
14	病児保育実施箇所数【1.3、2.2、4.2、4.3、4.4】	2021年 1 箇所	2022年	1 箇所	2030年	2 箇所	0%
15	輪島病院常勤医師数【5.3、5.4】	2021年 18 人	2022年	17 人	2030年	20 人	-50%
16	市立輪島病院1日当たりの外来患者数【5.3、5.4】	2021年 458 人	2022年	437 人	2030年	461 人	-700%
17	市立輪島病院年間訪問介護件数【5.3、5.4】	2021年 1,942 人	2022年	1,302 人	2030年	2,000 人	-1103%
18	農業就業者数【6.6、15.2、15.4、15.9】	2021年 1,574 人	2021年	1,574 人	2030年	1,580 人	0%
19	林業就業者数【6.6、15.1、15.2、15.4、15.9】	2021年 178 人	2021年	178 人	2030年	180 人	0%
20	漁業就業者数【6.6、14.2、15.9】	2021年 506 人	2021年	506 人	2030年	510 人	0%
21	1日1人あたり家庭系ごみ排出量の減少【12.4、12.5】	2021年 501 g	2022年	508 g	2030年	480 g	-33%
22	リサイクル率の向上【12.4、12.5】	2021年 13.8 %	2022年	13.2 %	2030年	20.0 %	-10%

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・指標No.1「居住誘導区域内の人口密度」、指標No.2「空き家データベース登録件数」、指標No.3「移住者数」、指標No.6「新規出店補助金交付数」及び指標No.12「生後3ヶ月未満児の全戸訪問実施率」は、順調に進捗しており、特に指標No.12「生後3ヶ月未満児の全戸訪問実施率」は、既に目標を達成している。

・指標No.7「おおぞら・町野町農業協同組合」及び指標No.9「石川県漁業協同組合輪島支店・門前支店の売上高」は減少しており、連携を強化し地域の活性化を図る必要がある。

・指標No.10「漁業環境の保全による漁獲高の維持」は、大幅な減少となっているが天候による影響が大きく、天候によっては漁獲高が大きく回復すると考えられ、また、資源回復へ向けた取組も実施している。

・指標No.13「地域貢献見守り事業者数」は、微減となっているが高齢による廃業によって事業者自体が減少したことが原因と考えられ、事業承継施策を強化し、事業者数を維持するとともに、事業者数の増加に向けた取組を推進する。

・指標No.15「輪島病院常勤医師数」は、微減となっており目標値達成のため、大学の医学部等への要望を強化し、常勤医師の確保に努めることとする。

・指標No.16「市立輪島病院1日当たりの外来患者数」及び指標No.17「年間訪問介護件数」は、大幅に減少しているが新たな診療所の開設が原因と考えられる。今後も高齢化率の上昇により件数は増加すると考えられ、地域医療との連携強化を図る必要がある。

・指標No.21「1日1人あたり家庭系ごみ排出量の減少」については微増、指標No.22「リサイクル率の向上」は微減となっており、市民の環境意識を高めるため、広報等の強化に努めることとする。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
1	世界農業遺産「能登の里山里海」に象徴される、自然環境の保全と継承	農業就業者数	2021年 1,574 人	2021年 1,574 人			2024年 1,580 人	0%
		林業就業者数	2021年 178 人	2021年 178 人			2024年 180 人	0%
		漁業就業者数	2021年 506 人	2021年 506 人			2024年 510 人	0%
2	輪島市の魅力を際立たせる自然・歴史的景観の保全・活用	輪島市の国・県・市指定文化財件数	2021年 331 件	2022年 335 件			2024年 336 件	80%
3	「朝市」や「白米千枚田」など、多様な観光資源を活用したツーリズムの振興	年間観光入込客数	2021年 132 万人	2022年 57.6 万人			2024年 170 万人	-196%
		年間宿泊客数	2021年 19 万人	2022年 9.8 万人			2024年 30 万人	-84%
		宿泊収容人数	2021年 2,176 人	2022年 2,102 人			2024年 2,200 人	-308%
		年間外国人宿泊者数	2021年 2,400 人	2022年 154 人			2024年 3,000 人	-374%
4	世界に冠たる「輪島塗ブランド」と漆器産業のさらなる強化	輪島塗生産額	2021年 26 億円	2022年 24 億円			2024年 30 億円	-50%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

- ・PDCAサイクルに基づき行政体内部及びステークホルダーとの連携により常時見直しを進め、自律的好循環の形成に努める。
- ・行政体内部においては、「輪島市SDGs庁内ワーキング」における進行管理の中で見直しを行い、「推進本部」で意思決定を行う。
- ・ステークホルダーとの連携協力においては、「パートナーシップの構築」、「重点プロジェクトの推進」の2つの観点から、定期的に評価・検証し、行政体内部にフィードバックする制度を構築し、官民連携で自律的好循環の形成に努めていく。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

輪島市の国・県・市指定文化財件数は、順調に進捗している。
年間観光入込客数、年間宿泊客数及び年間外国人宿泊者数は、コロナの影響を大きく受け大幅に減少しているが、2022年10月に始まった全国旅行支援の効果もあり、全国的に回復傾向にある。輪島市においても回復傾向にあるが、より観光入込客数等を増やすため、輪島市独自の「わじまに泊まろうキャンペーン」や「わじまで満タン！ドライブキャンペーン」等を行っている。
宿泊収容人数の減少は、高齢による廃業によって減少したことが原因と考えられ、事業承継施策を強化し、事業者数を維持するとともに、事業者数の増加に向けた取組を推進する。
輪島塗生産額もコロナの影響を受け減少しているが、コロナ禍の中、地域事業者等と連携し、実践的なノウハウを教わることができる「輪島クリエイティブデザイン塾」といったことに取り組んでいる。

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・様式2の3・6：輪島の特性である「里山里海」、「観光」、「輪島塗」をアピールしつつ、地域ブランド力を高め、移住者の増加につなげるなどの好循環をうまく創り出し、作用させている点を評価する。こうした取組が、他の自治体のモデルとして有効に活用されることを目指した今後の取り組みに期待している。
- ・進捗が指標からは読み取れないところが多いように見受けられる。進捗が進んでいないのか、あるいは指標が悪いのか、検討及び説明が望まれる。